

## 学校教育目標

### 『自主 協力 継続』

自主 自ら学び、考え、行動する生徒  
 協力 協力し、励ましあう生徒  
 継続 ねばり強く、努力する生徒



# 絆



学校だより No. 2  
 令和元年5月15日

市川市立第八中学校  
 校長 佐野 典行

ホームページ <http://www.dai8-tyu.ichikawa-school.ed.jp/>

## 新入生オリエンテーション



4月12日、生徒会主催の新入生オリエンテーションがありました。生徒会役員が中心となり、新1年生のために各専門委員会と部活動から活動内容の紹介がありました。それぞれに工夫を凝らし、少しでも八中のことをわかってもらいたいという気持ちが伝わってきました。

中学校では、生徒会や専門委員会に所属している生徒によって「みんなが過ごしやすい、より良い学校づくり」が行われています。言い換えると、学校生活が充実したものになるかどうかは、生徒のみなさん一人一人にかかっているということです。たとえ生徒会や専門委員会に入っ

ていなくても、学級の係活動や班活動に関わることで、一人一人が学校をつくっているという自覚をもってほしいと思います。また、部活動には、強い精神力やチームワークなど、勉強とは違った意味で得るものがあります。よく考えて、いろいろなことに挑戦しましょう。



## クラスの絆を深めよう！

2年生では、クラス替えがありました。そこで、新たに仲間になった級友との親睦を深め、絆が強くなるように、学年レクとして「長縄跳び」の競技が行われました。どのクラスも、はじめは苦戦していましたが、記録を伸ばそうと互いに声を掛け合い、協力し合って一生懸命取り組んでいました。2年生から3年生へはクラス替えがないので、これから2年間、学校生活を共にする大切な仲間です。互いを理解し合い、助け合いながら自分たちの力で良いクラスを築いていっ

てほしいと思います。今月末には体育祭もあり、クラスのチームワークが試される競技もあります。勝敗もちろん大切ですが、そこに至るまでにどれだけ一生懸命準備できたかで、思い出に残る感動的な体育祭になるかどうかが決まります。一つ一つの行事を通じて成長していくみなさんを見るのが楽しみです。



## オープンスクール

4月27日、オープンスクールがありました。今回は1年生にとって、はじめての授業参観ということで、保護者の方が教室に入りきれず、廊下から参観されているところもありました。学校教育には、家庭と学校との連携・協力が欠かせませんので、保護者のみなさんの関心の高さを大変心強く感じました。

私も短時間でしたが全クラスを参観しました。ICTを活用した社会科の授業では、生徒から「お〜」という歓声が上がり、「わかった」に「感動」が加わったいい授業でした。また、理科の授業では、グループごとに考察の結果を発表している場面がありました。伝える側も聞く側も立派な態度で、普段の授業の積み重ねを垣間見ることができました。新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」となるような授業の工夫・改善が求められ、生徒が学び合い、認め合い、高め合いながら、思考力・判断力・表現力等を高めることの大切さが示されていますが、それを意識した授業実践もありました。もちろん、まだまだ未熟な部分もありますが、生徒たちの「分かった」「楽しかった」のために研鑽を惜しまない教師集団でありたいと思います。

## 大切なお知らせ

### 学校感染症 第三種「その他の感染症」の扱いについて

以下のことについて、昨年度もお知らせしましたが間違えのないようにご確認ください。

**学校感染症第三種「その他の感染症」である、溶連菌感染症・感染性胃腸炎・マイコプラズマ感染症・伝染性紅斑（リンゴ病）・手足口病・ヘルパンギーナ等でも、これまで罹患がわかった場合、学校や保護者の中には出席停止をすべきものと判断している場合があります、治癒証明書を医師に求めることがありました。**

しかしながら、これらの感染症は、第二種の空気感染・飛沫感染の感染力の強いインフルエンザ等とは違い、通常の状態では感染力の弱い疾患のため、**第三種の「その他の感染症」に罹患しても、風邪等と同様に病欠欠席扱いとなるものです。**

ただし、感染が拡大し学級・学校閉鎖等になる場合には、インフルエンザ等と同様に出席停止扱いとなります。



## P T A 総会

過日のPTA総会では、大変お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。

また、昨年度の本部会役員の皆様並びに会員の皆様には、八中の生徒たちのためにご支援・ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。

様々なPTA活動のおかげで、生徒たちは安全・安心な学校生活を送ることができています。今年度は、綱会長を迎え、新たなスタートを切り、5月11日には第1回の運営委員会が開催されました。体育祭での協力体制の確認や老朽化している校舎の修繕の話など、「生徒たちのためにできることをしたい」というお気持ちを伺い、とても頼もしく、有り難く思いました。

学校とPTAは、学校教育の両輪であると思っています。学校にとりまして、PTA活動はなくてはならないものです。今後とも「できる時に、できる事を、少しだけ」の精神で、多くの皆様のご協力をお願いいたします。

